

議案（２）日本型直接支払交付金に関すること

< E 委員 >

環境保全型農業直接支払交付金は新しい交付金か。

< 事務局 >

平成 27 年度から多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金と一体となって始まったもの。

< E 委員 >

取り組み市町村は 10 市町村で減少傾向にあるのか。

< 事務局 >

取り組み市町村は減少傾向にある。

< E 委員 >

減少理由として、取り組み農業者の高齢化及び労働力の減少が挙げられているが、これは多くの市町村で共通の課題だと思う。全 25 市町村のうち半分に満たない 10 市町村のみでの実施理由として、市町村の考え方の違いがあるのか。それとも行政でなく農業者ベースの考え方の違いや地形の違いなどがあるのだろうか。

< 事務局 >

本交付金の対象者は、農業者の組織する団体または一定の条件を満たす農業者となっており、個人の場合は一定の要件を満たさないと対象にならない。また、各市町村において個人で取り組む人はいるが、組織化されているところが少ない状態。個人で交付金を受けるには 1 つの取り組みを約 12ha 以上実施していないと交付対象とならないことや、組織化されている協議会が少ないのが 10 市町村のみの活用にとどまっている理由と想定される。

< 事務局 >

さらに、対象要件として化学肥料、科学合成農薬を 5 割以上低減した取り組みと併せて、堆肥やカバークロープなどの取り組みも必要となっており、まずは 5 割低減することの一つハードルがあるのではと考えている。ただし、サキホコレが農薬と化学肥料の 5 割低減を要件として令和 7 年度から栽培を行うこととしていることから、後押ししていきたい。

< B 委員 >

5 割減は、秋田の慣行の栽培に対して 5 割減ということか

< 事務局 >

そのとおり。秋田県特別栽培農産物認証制度というものがあり、そこで一般的な慣行の農薬の使用回数や化学肥料の使用量が定められており、その 5 割減となる。

< B 委員 >

東北は特に西日本等とは異なり農薬の使用量が少ない気がする。以前、本交付金の活用を検討したが、周辺農家は限界まで農薬の使用を減らし、資材高騰等も受け、さらにといふのは厳しく、本交付金を活用出来なかったという声もある。病害虫防除や単収面への影

響も含めて、さらに半分に減らすのは高いハードルになっているようだ。

これまでは農業が振興されることで、多面的機能、いわゆるプラスの効果が大きいという考えであったが、みどりの食料システム戦略では、農業の環境負荷部分、マイナスの部分を減らそうということに変わっている。農村政策の中に、環境対策も盛り込む必要があると考えるが、環境対策をやっても所得が増加することがないのが問題。農村の所得向上のための取り組みを行っているのに、環境対策を行うと負担が増えるといった議論になってくるあたりからも、大きな問題なのかもしれない。

地球温暖化防止というのは農業も関わっており、温室効果ガスは農業面でも水田からのメタンガスが影響を及ぼしている。しかしながら、農業は本来作物を作ればCO₂を吸収するわけであって、例えばもみ殻もバイオマス燃料や土壌改良材としてとし、Jクレジット制度を活用することも検討してみても良いと考える。

農村施策は手厚い支援になっていると思うが、補助金は主体的に動いているところの一部をバックアップする形、あくまでサポートであると思う。そして、対象を限定しすぎず、農山漁村の振興や活性化に携わる者が支援を受けられるような仕組みを作っていけば、成果がより現れるのではないか。

<F委員>

新たに起業する者や若者への支援が手厚いのはとても良いと思う。ただ、長く活動続けてきた人の中には、長すぎてこれでいいと思いがちな人も多いので、新たな活動をして、もう1ステップ進めるようなきっかけを作れたら良いのではと考えている。

<D委員>

農家の所得が増えれば、環境保全活動まで取り組みも広がると思う。有機農業が高く売れるのであれば、取り組む人が増えると思う。物価高騰なのに、農産物の価格が変わらない現状が問題なのではないか。

<A委員>

消費者の理解問題もかなり大きいのではないか。グリーン・ツーリズムの大学生等との交流活動について、消費者は補助金の政策で甘い汁だけ吸っているのではないか。自分たちも問題を作っているのかもしれないと気付かせる必要がある。現場は大変な思いをしていて、農業者がいなければもっと問題は深刻化しているという気づきが、特に大学生は出来るのではないか。楽しい体験だけでなく、農業者の思いや状況を知るような教育も必要だと思う。

<B委員>

観光農園で収穫体験ではなく、草刈りなどの労働体験も良いのでは。消費者がどこまで負担できるのかなど、消費者教育があまり出来ていないのではないかと考えられる。